

令和元年11月定例教育委員会 会議録

1 開催期日 令和元年11月28日(木)
開会 午後 1時30分
閉会 午後 2時32分

2 開催場所 役場 2階 会議室

3 出席者名 教育長 布施 東 雄
委員(教育長職務代理者) 原 田 光 雄
委員 宮 下 静 子
委員 不二井 悟 史
委員 北 川 えい子

局長 樋 爪 友 一
局参事 泊 昌 司
次 長 朝 倉 恵 子

4 傍聴者名 町議会議員 田方 均

5 議 事

6 議事の経過について

事務局の進行により、教育長から、町顕彰式及び町文化祭開会式、住吉公民館文化祭についての報告、奥能登タウンミーティングについての報告、B&G全国教育長会議についての報告、向洋小学校計画訪問についての報告、町駅伝競走大会についての報告、諸橋芸能文化発表会及び兜地区発表会についての報告、県多忙化改善推進協議会についての報告があり、前会議録の承認を得た後、会議録署名員に原田委員及び宮下委員を指名し、承認されました。

審議議件なく、その他について質疑応答が行われました。

次に、12月の定例教育委員会の開催期日を12月25日(水)午後1時30分と決め、閉会しました。

* 主な質疑・応答等について

11月 定例教育委員会議事録

一 教育長報告 一

行事を追ってご報告いたします。11月3日に、町の顕彰式および文化祭の開会式がありまして、同日に住吉の公民館でも文化祭が開かれておりましたので、私と事務局長とで両方いろいろ回ってきました。

11月4日には、奥能登タウンミーティングと称しまして、石川県の教育委員会が主催で毎年二市二町の関係者を集めて行なう会があります。その中で今年は、穴水町が学校教育等々社会教育でもいいのですが関わっていることをお話くださいということで、今年は事務局の乗地が穴水町のふるさと教育について発表をしてきました。

11月6日には、私、B&G財団の全国教育長会議に出席いたしました。B&Gには、第三の居場所を始め、いろいろな海洋スポーツに補助をいただいていますので、お礼も兼ねて行ってまいりました。毎年タイムリーな講演があるのですが、今年は、東京都の麴町中学校の工藤勇一校長先生が見えて、自分の学校の改革についての講演と、2日目は、東北大学の人間の脳の研究をしている先生が、歳がいくと脳みそはどうなるかということ、わかりやすくお話しください、子どもの脳の発達等についてもお話を聴かせていただきました。皆さん、ご存じでしょうか。麴町中学校はマスコミにセンセーショナルに取り上げられて、『試験がない学校』と言われていたのですが、いわゆるこの学校でも行っている中間試験とか、期末試験というものがないということであって、教科書の単元が終わる毎に試験をする、ということなので、かえって余計に大変なのです。クラスの経営にしても、ホーム担任を置かないということで、集団で学年なりクラスに入っていくということで、メリット・デメリットもあるのでしょうけれど、クラスを一人担任をすると、その担任がいろいろな意味で何もかも自分の責任というようなことになっているのですが、集団で持たせているとその人のできる範囲内のことを、生徒指導は私がやる、学習指導は私がやる、悩み相談は私がやりますよというような形で、入れ替わり立ち替わり教室に入っていくというそういうスタイルをとっているということです。学年150人位の中学校なので4クラス程の学校なのでしょうが、その他にコミュニティースクールなので、外部講師と言いますか学校を支援する人がいっぱいいるのです。家庭科で料理の研究をするといえば陳健一が来るとか、音楽はピアノやバイオリンの超一流の演奏家が来て子どもたちに演奏を聴かせたり話を聴かせたりするとか、本物に触れさせるということを意識してしている。学校自体も国会近くにあって、官僚のご子息が多いので非常に意識が高いのだが、最近は私学進学が多くなってきている一方で受験に挫折した入学生も入ってくるので、1年生には心のケアにも力を入れ取り組んできたなら、近隣から来る生徒も増えてきたということです。1年生には、「勉強しなさい。」と言わないで取り組んできたなら、最近は2年生3年生と学年が上がるにつれて、すごく勉強をするようになるし、1年生に何をするかというと、世の中にはいろいろな人がいる事を知り、お互いをリスペクトするような指導をする。教室で授業をしていてもとんでもないことを言う生徒がいても、それを許してそのままです。そういう雰囲気のあるクラスを作るといって力を入れていったら結果的には学力も伸びたし、かつての日比谷高校へ行くような生徒も増えてきたということです。ホーム担任を置かないで期末試験をやらなくても学校運営をするというやり方に共鳴した学校が、石川県にも1つありますし、長野県にもあります。工藤校長先生がおっしゃったことのようなバックアップができる学校とできない学校があると思います。麴町中学校以外の学校は大変かと思えます。保護者は学校にもものすごく応援をしてくれるそうで、立派な体育

館があって、地下には温水プールのある体育館で、部活動も外部の社会体育の方に預けて東京都の中体連のようなところから2つの部は外してそこでの交換試合に行くということで先生方には負担はかかりません。サッカーは活動しているクラブに中学生が入れる部を作ってもらってそこに麴町中学校の生徒が行って活動をするということです。

11月11日に、向洋小学校の計画訪問でした。

11月17日、第64回町駅伝競走大会でした。大変良いお天気に恵まれて、地域の方々、年配の方々が沿道に出てくださいまして応援をしてくださいました。優勝は「TEAM BANBA」というチームで、昨年から若い大変強い若者を集めたチームで、スタートから独走で後は開くばかりでした。ユニークなところでは、中学校の先生を中心のチームで「ANA teachers」というチームが、よく頑張ってくれて3位になりました。

11月24日には、諸橋の芸能文化発表会と兜の発表会があり、石川町長にも祝辞を頂戴いたしました。

昨日、11月27日は、県の多忙化改善推進協議会がありました。まだ中学校では80時間オーバーが3割近くいますが、少しずつ下がってきてはいます。3年目の対策として、今まで月1回定時退校日を設けていましたがそれを2回にするという案もありましたが、やはり定数改善が必要なのではないかとことです。学校の中にも様々なサポートスタッフを入れているわけですが、やはり国からの補助もなければ全て市町負担ということになると市町にも無理がかかってきます。石川県だけがこのようなことを言っているわけではないので、いろいろな方面から国に要望していかなければならないと思います。

以上です。

— 議事 —

教 育 長 今回は事務局からは特段議事はありません。
委員の皆さんから何かございませんでしょうか。

全 員 特になし。

教 育 長 ないようですので、その他「いじめ・不登校」からお願いいたします。

朝 倉 次 長 (詳細説明)

(途中省略)

教 育 長 先ほどの麴町中学校ですが、運動会で3年生の全員リレーが伝統的な行事だったのです。ある時に学校長が生徒会の子ども達を呼んで「自分達の運動会なのだからプログラムを自分達で考えなさい。」とおっしゃったそうです。それでそのリレーをやっても良いかアンケートを取ったそうです。その時に生徒会が掲げたスローガンが『全員が楽しめる運動会にしよう』というものだったそうです。アンケートは84～5%が賛成、後の12～3%がやりたくないというものでした。生徒会長は、僕たちは全員が楽しめる運動会にするというスローガンを挙げてい

るので、普通の感覚からいうと15%程の反対ではやる方向になるのだろうけれど、面白くないという生徒がいるので止めます。と止めたのです。そういう感覚で子どもを育てているのですね。そういう子ども達も大切にします。子ども同士がそのようにしてリスペクトしあって、やりたくないという人には強制しないで、勇気を持って皆で止めよう、そういう感覚・気持ちというものが子ども達の中に目覚めると、おそらく陰湿ないじめなど無くなっていくのだろうと思います。だから1年生の間は、勉強勉強の前にそういうリスペクトを築いていく麴町中学校だということをすり込んでやっていくということが今でいう学力向上にもつながるし、試験も1回目に失敗した生徒には2回まで再挑戦を認める。麴町中学校がやっていることで学ぶことがたくさんあります。本物に触れさせるとか、地域の大人達と交流を持つとか、そういうことは穴水町でいうとふるさと教育で一部にそういうことがあるので、自分が地域に大切にされている人間だと思うと自己肯定感が上がる。稲刈りに行って下唐川のおばちゃんたちに声を掛けられたり、親元を離れて南アルプスへ行って世話をしてくれたおじちゃん、おばちゃん達が大変親切にしてくれたので私もあんな人間になりたいと思ったり、そういうことが学校の教室の黒板だけでは育てられない。そういうことを子どもの時期に体験させるということが大切なだろうと思っています。子どもの心は、非常にナイーブで何気ない友達のからかいの言葉が、掛けた本人は何の意識もないのですが、本人に至っては時と場合よっては心にグサッと突き刺さることがある。それがいじめかというところでもないのだろうけれど、本人は意識ないし、いじめてやろうと思ってしているのではないのだろうけれど、結果的にそうなるという所が怖いのです。間髪入れずにそれを先生方気付いて修正できるかどうかということですね。だんだんたまっていってこもってしまうのですよね。1回閉じこもってしまったら抜けるのに時間がかかってしまう。ということです。脳科学の先生は、人間の脳は歳に関係なく凄いことに発揮することができますよということです。ピアノでも小さい間に始めなければというのは嘘で、いつでもできる。本人が興味を持ってやろうとしたことに、本人の努力もあります。周りの応援もあってやることでどんどん伸びるのです。定年退職してから英会話を身につけたり、ピアノが弾けるようになった人はたくさんいるのです。何歳までに何をしなければならぬというのはあまり関係ない。ただ子どもの時に興味を持ったことに周りの大人と一緒に楽しくあげること。それが大事です。少しずつ改善されている部分もあるので、私たちがそういうところをくんで対応していければいいかと思います。その他ございませんか。

原田委員 放課後児童クラブでの様子等は入ってくるのですか。
(途中省略)

朝倉次長 (途中省略)

宮下委員 向洋クラブには元保育士さんがおられますが、おひさまくらぶにも資格者はおられるのですか。

朝倉次長 資格者もおられますが、交代勤務もありますので、常に資格者が居るかというところと不明です。

教育長 他に意見はございませんでしょうか。
では、その他の2番目、令和2年町新年互礼会についてです。

(調 整)

教 育 長 最後に、12月の行事予定です。

泊 局 参 事 (12月行事予定について説明)

教 育 長 他に何かありますか。
では次回の定例教育委員会の日程です。

(日程調整)

教 育 長 では、次回の定例教育委員会は、12月25日(水)午後1時30分から開催いたします。
よろしく願いいたします。
他にはありませんでしょうか。
以上、これで定例教育委員会を終わりたいと思います。本日は、ありがとうございました。

以 上

穴水町教育委員会会議規則（昭和31年教育委員会規則第2号）第15条第2項の規定により、署名する。

会議録署名員

教 育 委 員

教 育 委 員
